



CISJ NEWS

A Publication of the Clinical Implant Society of Japan

July 2012

ご挨拶



日本インプラント臨床研究会

会長
井 汲 憲 治

会員の先生におかれましては、ますますご健勝のこととおよろこび申し上げます。

本年度も前半がすぎましたが各種研修会が予定通り開催されました。また、4月の新人発表会においては、昨年認定講習会を受講されたほとんどの先生がケースプレゼンテーションを行い本格的に我々の仲間となりました。その発表内容は年々レベルアップしており、参加された全員が本気で日常臨床・インプラント臨床に取り組んでいる姿を感じました。

4月21日には今年度の認定講習会が開講し、36名の受講生が研修会員として入会し、インプラントの専門医のための研修をスタートしました。また、5月27日には、初めての試みとして、会員診療所所属の歯科衛生士を対象としたインプラント専門衛生士育成コースもスタートしましたが、これも定員を上回る受講生が集まり順調にスタートしております。

恒例の全員発表研修会は、今年の中野喜右人副会長にお願いして大阪で開催されますが、過去最多の128演題がエントリーしております。今年の夏もインプラント臨床に浸りきる暑い2日間になると思います。

これは誇らしいお話なのですが、前回のケースプレゼンテーション試験におきましては、本会から受験された先生が全員見事合格されました。また、直近の学会誌に掲載された専門医受験に必要なケースプレ論文が掲載されておりますが、全30編のうち8編が本会員の論文でした。臨床系研修施設数が全部で21施設であることを考えると、これは会員の先生の実力と熱意がきわめて高く、各研修の企画・運営にあたられている理事と委員各位が、他の施設以上に汗を流していただいていることの賜物であること間違いありません。

さて、長年ファクスによって研修会などの会務に関する情報を会員の先生にお送りしてきましたが、このたび、IT化やスマートフォン全盛の時流にあわせて、印刷物以外の情報送信をメールとHPに完全に切り替えることとなりました。これは通信手段の大改革ですが、年間行事や必要な情報を会員ページとメールを通じて簡便に入手できるようになっております。

今年後半も様々な研修や企画が目白押しです。学会、研修会に積極的に参加していただくためにも、また、本会や学会の大切なお知らせをupdateしていただくためにも、メールや会HPのチェックは必ずこまめに行っていただくことをお願いいたします。